

2022年度

重層的支援体制構築推進
人材養成研修・広報啓発事業

「連携」と「協働」

— 所内・庁内連携を中心に —



Optim's-pt

(オプティムズ プロジェクト)

代表 上原 久

連携の「始まり」で起こること

連携元【発信】

連携先【受信】

事例情報

【情報の内容】

困り感だけが伝わる
早く手放したいという意図
依頼目的が曖昧
勝手な見立て・手立て

問題の背景を考察
一緒に動きます！

拒否・拒絶感

イライラ・葛藤

共感(腑に落ちる)

引き受けたくなる

連携の定義

連携とは...

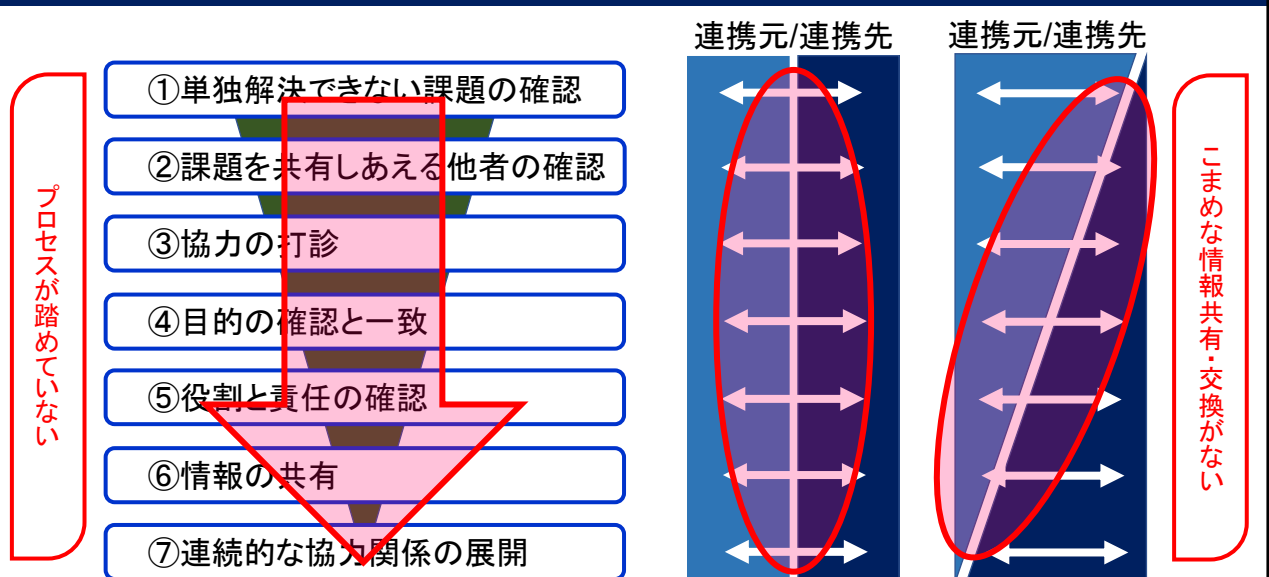
共有化された目的を持つ
複数の人及び機関(非専門職も含む)が、
単独では解決できない課題に対して、
主体的に協力関係を構築し、
目的達成に向けて取り組む
相互関係の過程である。

《連携の構成要素》

- ① 共有化された目的
- ② 複数の人及び機関
- ③ 単独解決できない課題
- ④ 主体的な協力関係
- ⑤ 目的達成の取り組み
- ⑥ 相互関係の過程

吉池毅志、栄セツコ「保健医療福祉領域における「連携」の基本的概念整理—精神保健福祉実践における「連携」に着目して—桃山学院大学総合研究所紀要代34巻第3号、P.109-122、2009年3月 より作図

連携の過程と問題が発生しやすい部分と要因

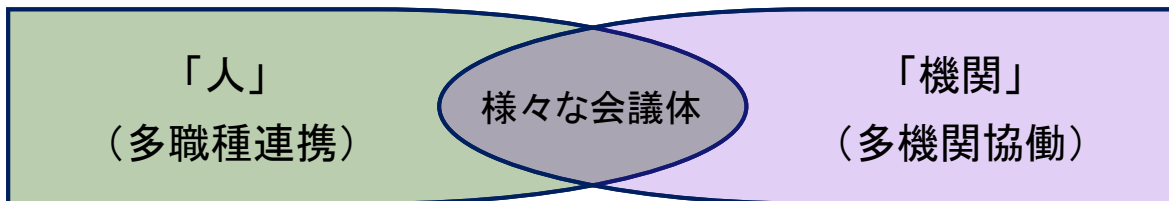


吉池毅志、栄セツコ「保健医療福祉領域における「連携」の基本的概念整理—精神保健福祉実践における「連携」に着目して—桃山学院大学総合研究所紀要代34巻第3号、P.109-122、2009年3月 より作図

「連携」と「協働」の概念整理

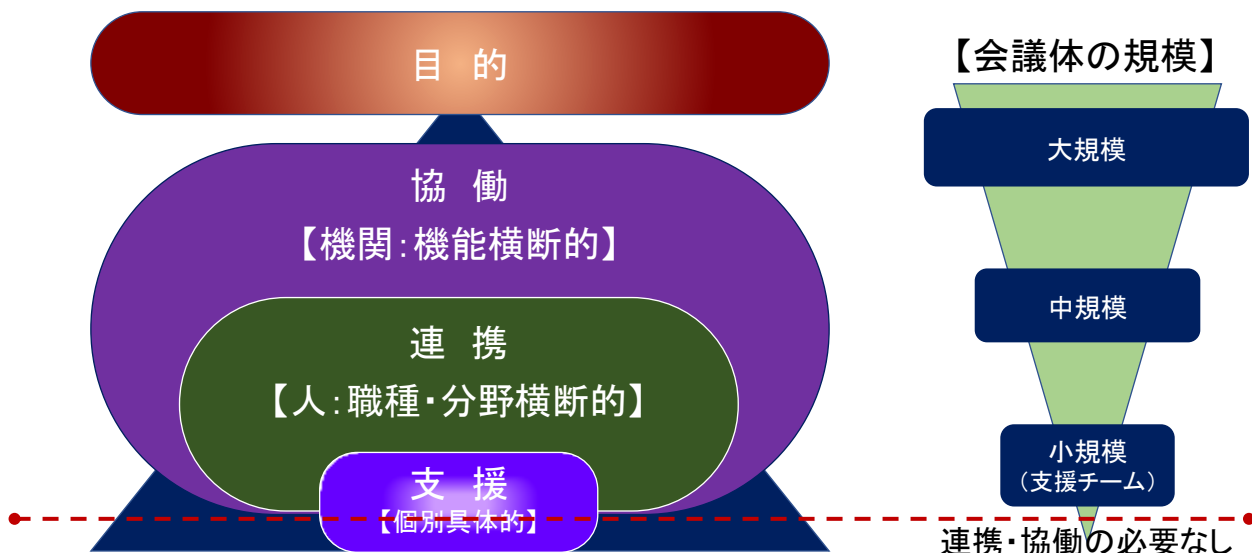
【連携】

【協働】

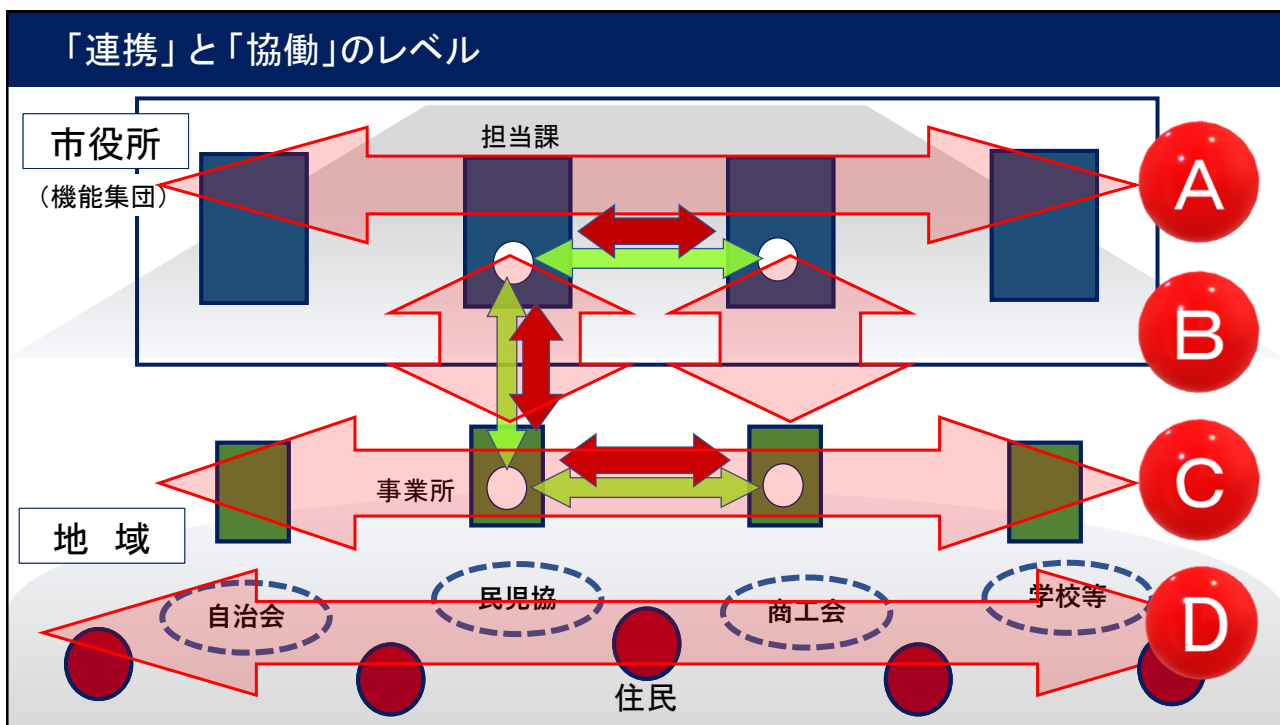
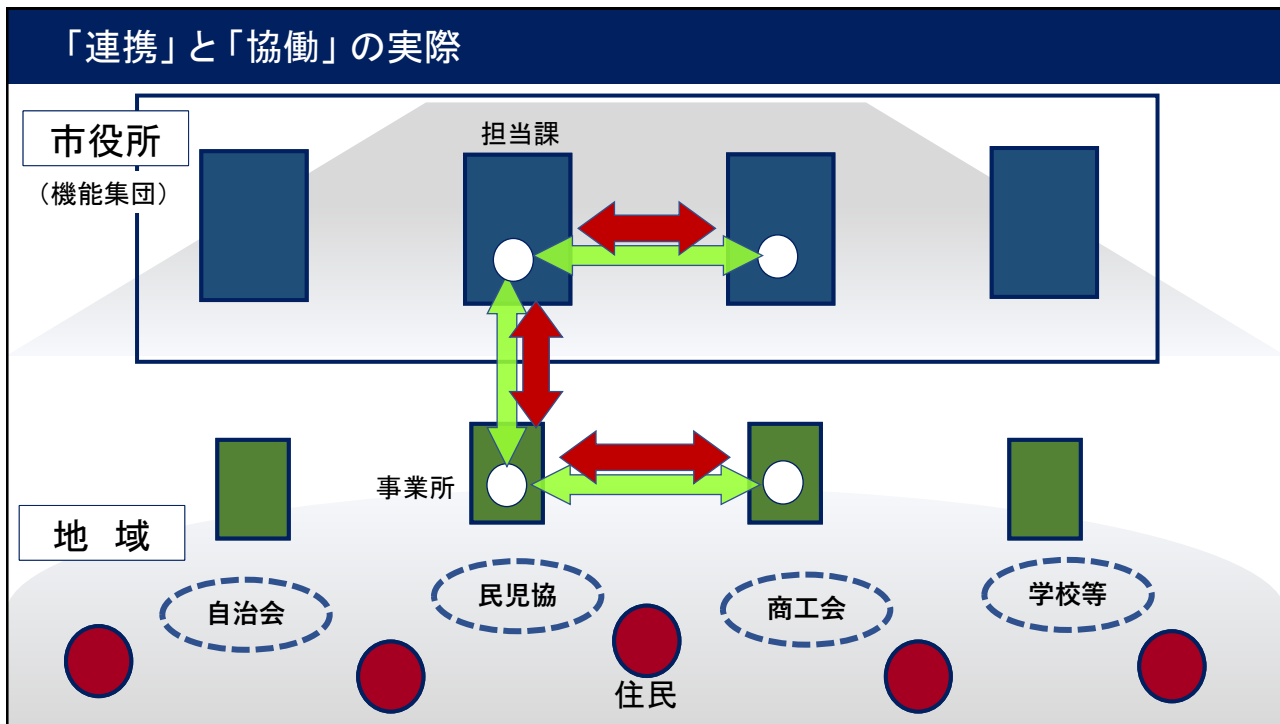


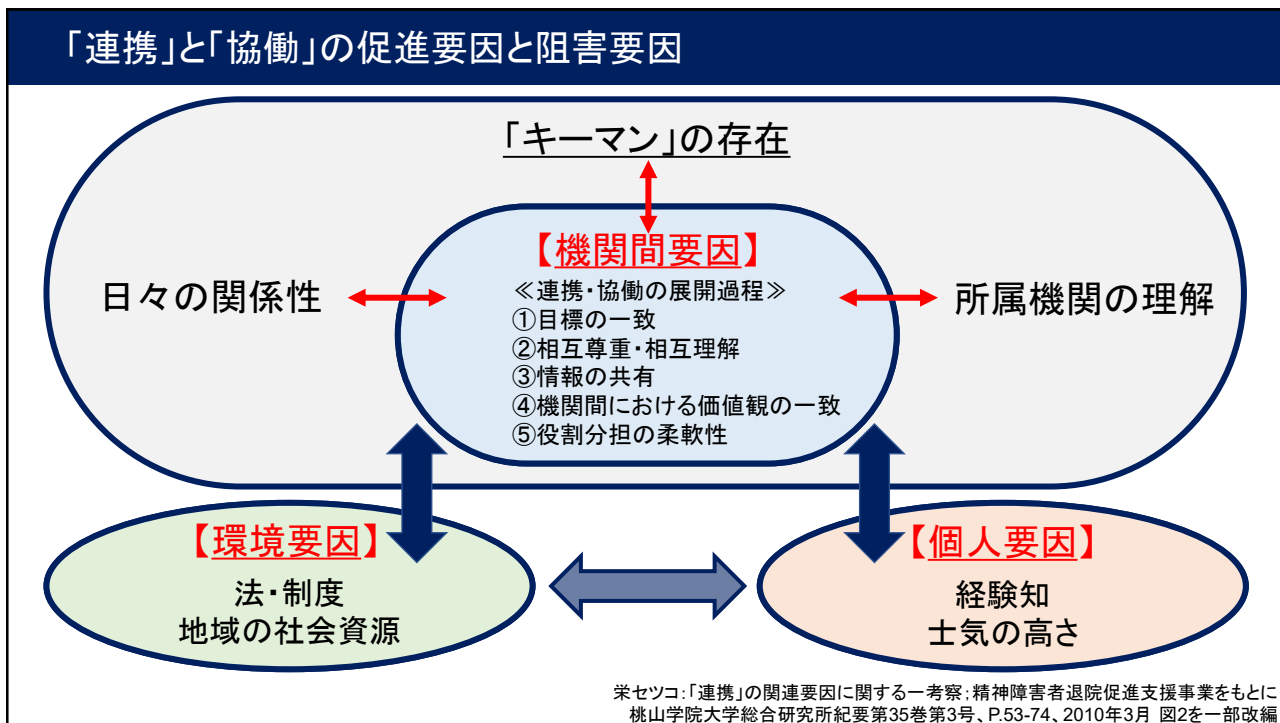
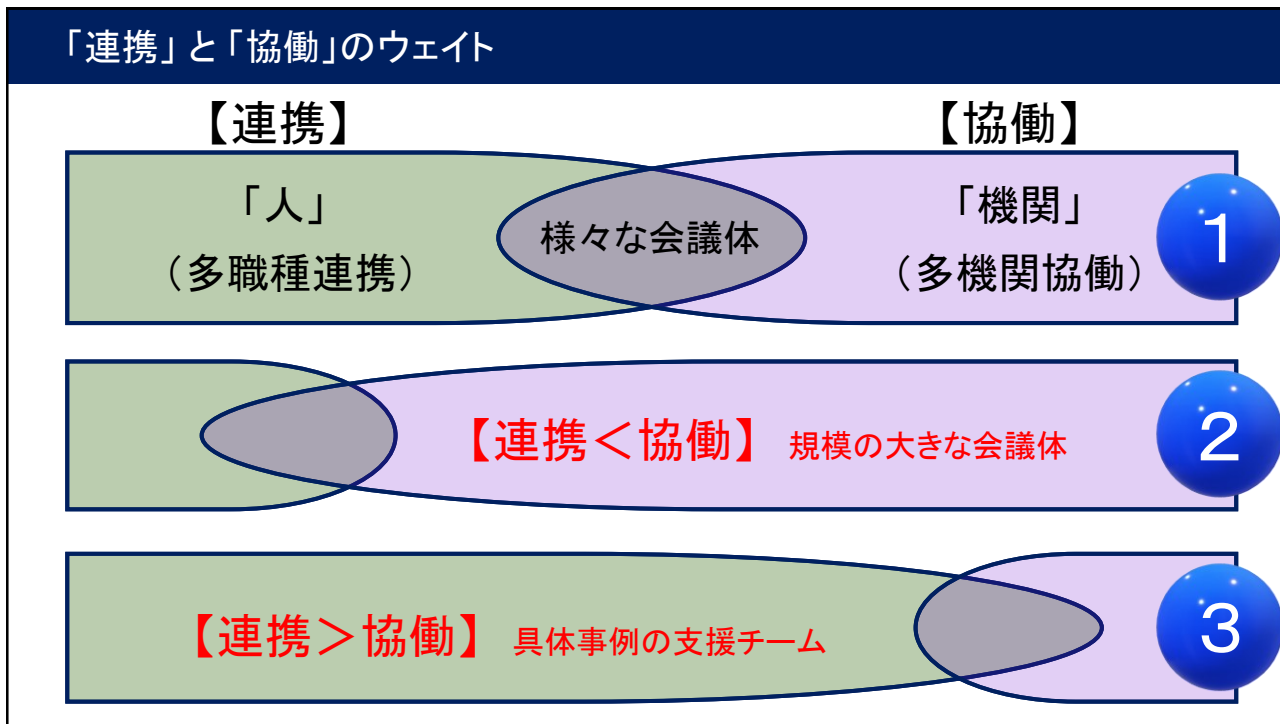
原田正樹:「包括的支援体制の制度的理解・考え方」、令和3年度重層的支援体制構築推進人材養成研修講義より作図

「連携」と「協働」の関係整理



吉池毅志、栄セツコ「保健医療福祉領域における「連携」の基本的概念整理--精神保健福祉実践における「連携」に着目して--桃山学院大学総合研究所紀要代34巻第3号、P.109-122、2009年3月 図1を改編





【まとめ-①】「連携」する際のポイント整理 - 「協働」を意識して

	連携	協働
概念	人(多職種連携)	機関(多機関協働)
動き	パーソナルプレイ	システムプレイ
レベルとウェイト	【レベル(A B C D)】と【ウェイト(1 2 3)】	
留意点	<p><u>「掛け声だけ」or「集めただけ」では機能しない</u></p> <p>≪①大義(目標・目的)、②根回し、③手順(戦略)、④配慮(相手の利益)≫</p>	
キーマン	責任分散回避・情報の一元化・進捗管理	

【まとめ-②】「連携」する際のポイント整理 - 個別支援を意識して

No	項目	ポイント	備考
1	アセスメント	①事例全体のアセスメント【共有】 ②各職種のアセスメント 【確認】 ③各自のアセスメント 【伝達】	①事例の人生やライフステージを念頭に ②職種の専門性による見立て ③全プランの中で各自が果たす役割
2	ベクトル合わせ	①顔合わせ ②波長合わせ ③呼吸合わせ	①顔の見える・価値観を…関係の形成 ②具体事例の「価値」の共有 ③支援の提供タイミング (スタートorバトンを渡すタイミング)
3	観察ポイント	①観察ポイントの同定(どこを・何を) ②観察起点の特定(いつから) ③「小さな変化」の気づき	①支援成果の評価 ②終結時の評価 ③資源開発の検討 } 根拠
4	3つの共有	①情報の共有 ②価値の共有 ③判断の共有	事前に共有できるものもあれば、 支援途上で見えてくるものも多い。 タイムリーで、こまめな情報交換が必要

MEMO

この研修を通して、あなたが気づいてことをメモに残しておきましょう。
数か月後、もう一度この資料に目を通してみてください。新たな気づきがあるかもしれません…

ご質問・お問い合わせはお気軽に下記までご連絡ください。

資料の無断使用・転載・引用等を禁止します。ご利用の際は作者の許可をお取りください。

◆E-mail◆ Otpims.pt@gmail.com 上原 久(うえはら ひさし)